

公益社団法人 福岡県理学療法士会

令和2年度 第2回臨時理事会議事録

日 時：令和3年1月16日（土）15：00～16：30

場 所：Web会議

出席者：(理事) 西浦 健蔵、松崎 哲治、諫武 稔、近藤 直樹、宇戸 友樹、久保田勝徳、山口 寿、佐藤 憲明、
高橋 博愛、中村 雅隆、久原 聡志、平原 寛隆、加藤 正和、時吉 直祐、永野 忍、岩佐 聖彦、
山内 康太、遠藤 正英、福田 輝和、今村 純平、志田啓太郎
(欠席) 廣滋 恵一、吉田 純一、松垣 竜太郎、
(監事) 森田 正治、日野 敏明、田中 裕二
(事務員) 中山 祥子
(書記) 皆田 享平

議長は、西浦健蔵会長がつとめ、会長、監事により議事録に署名することを確認した。

【審議事項】

【会長】

1. 令和2年度予算執行状況確認

収入（見込み） 66,105,000円

12月15日現在の予算の執行状況 23,111,883円（1月現在の執行状況を確認中）

修正予算後の支出合計支出 51,326,694円

（修正予算後にも修正を頂いている分の合計）

支出 23,111,883円（12/15時点）

公益事業比率 68.21%（12/15時点）

収支相償 21,408,638（12/15時点）

余剰金見込み 14,778,306円（12月15日現在）

（今年度中に全体のPCを購入する予定：1,600,000円程度）

修正予算と執行状況の開きが大きすぎではないか？

→1月に入ってからの執行状況を確認する。

2. 遊休財産保有制限について

今年度の遊休財産保有制限について、宮田税理士事務所に確認した。

例年だと事業実施に伴い、遊休財産の保有上限額（項目の40の金額）が増加し、それに反比例して遊休財産額（項目の41）が減少する。遊休財産の保有制限をクリアしていく動きになるのだが、今年度は事業による動きがほぼないため、12月15日現在の収支予算でいくと、15765045円に対し、95913179円になっている。

宮田先生によると今年度はおそらくクリアしない為、県への説明が必要となるとのこと。

3. 令和3年度予算（案）について

各部局より改めて提出頂いた予算案をまとめた結果、以下の通り。

収入予測：70,755,000円

支出予測：86,065,260円（1月15日時点）

（事業別・部局別費用一覧表：参照）

（部局別昨年度予算案と今年度予算案と修正予算案（12月と1月）の比較）

昨年予算と比較した予算が増えている主な点

事務局：人件費 10,182,000 円、
総務局：ホームページ運用費用・システム再構築費用 1,200,000 円、ノベルティグッズ製作費用 500,000 円
社会局：アンケート調査費用 840,000 円、
学術局：研修会会場 1,331,000 円、学術大会会場費用 1,000,000 円、
支部局：北九州支部 550,000 円、福岡支部 315,000 円、筑後支部 260,000 円
地域包括ケア推進局：飯塚市、桂川町、水巻町の委託費用 1,500,000 円
(この予算は行政からの委託費用の為、プラスマイナス 0 となる)

昨年予算と比較した予算を削っている主な点

事務局：旅費交通費、役員行動費、交際費、消耗品什器備品費、消耗品費、印刷製本費、慶弔費、雑費などで 5,925,000 円
総務部：会議費 100,000 円、広報誌 200,000
学術局：学会ポスター、会議のオンライン化、交通費見直しなどで 400,000 円
社会局：会議の WEB 化 170,000 円、北九マラソン、車いすテニス大会 500,000 円
支部局：研修会、体力測定会に関する費用 1,700,000 円
地域包括ケア推進局：3 士会合同の研修会 630,000 円、会議の WEB 化 100,000 円

どの局、部においても会議や研修会をオンライン化し、会議費や交通費などをスリム化したり、広報誌や学会誌をスリム化したりして経費削減に努めて頂いている。しかし全体として収入 70,755,000 円に対して、支出 86,065,260 円となり、現時点で -15,310,260 円となっている。

公益事業比率	75.66%
収支相償	△24,143,155
遊休財産保有制限	

以上の内容を鑑みて来年度予算の審議をお願いします。

→継続審議

来月の代議員との意見交換会にて予算を提示し来年度の本会の方針を説明後に次回理事会にて再度審議する。

(主な意見)

- ・事務局強化に向けて、事務所職員を 1 名増加するための消耗什器備品が増額していない。増加はないのか。
→話し合いを設け、来年度に関しては問題ないと判断した。
- ・Web 会議が増えるのであれば封筒等も増えるのではないのか。印刷製本費が下がっているのは何故か。
→話し合いを設け、計上した上で問題ないと判断した。
- ・収入額が上がっている理由・要因は何か。
→どこの部分がどのように上がったという明記の判断は難しいが全体的には収入額は増加している。
- ・収入増加に関しては理由や要因を十分に明記する必要があるのではないのか。
- ・新入会員の増加が理由なのか、根拠のある明記が必要ではないのか。
→明確な理由・要因に関しては担当者と話をして後日報告する。
- ・余剰金に対する対応はどのように行うのか。
→会員に返金するといった選択をするのではなく計画的に数年に分け、公益法人としてしっかりと事業を実施していく。

【各種委員会】

[表彰規程委員会]

1. 2020 年度協会賞受賞候補者の推薦について

表彰規程に従い今年度は本会から 1 名、永友 靖 氏を推薦する。

→承認

以上この議事録の内容が正確であることを証明するため、出席した会長、監事は、次の通り署名する。

令和3年1月16日

公益社団法人 福岡県理学療法士会